



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.222
2025年
9月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●EAAFP 国内ニュースレター Vol.4

環境省より3種群全体の国内ニュースレターを配布します。同封の添付資料をご覧ください。今号は、令和7年2月28日～3月1日に東よか干潟（佐賀県佐賀市）で開催された渡り性水鳥フライウェイ全国大会報告となっています。

〒100-8975

千代田区霞が関 1-2-2 26階
湿地保全専門官 酒井 郁
KAORU_SAKAI@env.go.jp

●EAAFP 野鳥観察ノート配布

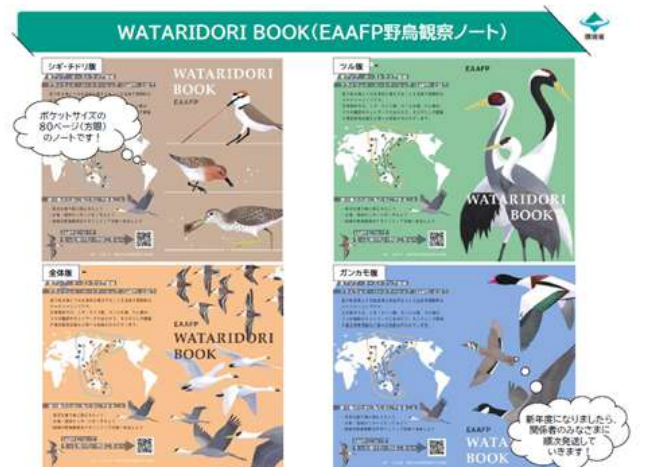
EAAFPを担当する環境省野生生物課が、普及啓発ツール（EAAFP野鳥観察ノート）を作製しました。表紙の絵柄は、4種類ありフライウェイを利用する渡り鳥が描かれています。ノートは非売品ですが、今後は、フライウェイ全国大会や渡り鳥関連のイベントにご参加いただいた皆さまへのノベルティとして配布します。各サイトにも既に直接発送されています。



フライウェイ全国大会での集合写真

●全国大会 開催地募集

環境省では、フライウェイ全国大会を毎年、国内に34箇所ある渡り性水鳥重要生息地ネットワーク（ネットワーク参加地）いずれかの湿地で開催しています。「来年度はぜひ自分たちの湿地で全国大会を開きたい！」という自治体の方は、ぜひ環境省までご連絡ください。



ノートの表紙の絵柄

問い合わせ先

環境省 自然環境局 野生生物課

2026/03/20 No.222	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	1/2
----------------------	--	-----

●ヨシ焼き・ヨシ刈り

早春のこの季節に、多くのネットワークサイトでヨシ焼きやヨシ刈りが行われます。水辺のヨシ原は、魚や水鳥の住処となるほか、水質浄化にも効果があるとされ、春にヨシを刈り取ることで、春先の新しい芽の成長が良くなります。

米子水鳥公園(鳥取県)では、令和7年3月23日にボランティア47名が集まり、ヨシ刈りを行いました。また、同日福島潟(新潟県)でも、春の風物詩となっているヨシ焼きが行われました。



米子水鳥公園でのヨシ刈りの様子

●「大阪・関西万博」で琵琶湖のヨシを利用

琵琶湖のある滋賀県では、「滋賀県琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例」を定め、各地でヨシ刈りやヨシ焼きが行われています。また、刈りとったヨシの様々な利用が検討されています。

この度開幕した「大阪・関西万博」でも、運営スタッフユニフォームの帽子が、滋賀県の琵琶湖岸のヨシを素材とするヨシ布で作られています。このヨシ布を制作している大阪府枚方市の株式会社「たまゆら」では、滋賀県高島市で2024年12月にヨシ刈り体験のイベントも行っています。



「大阪・関西万博」ユニホームの帽子

●地域生物多様性増進法 令和7年4月施行

環境省では、令和5年度から「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」に認定してきました。

令和7年4月から、自然共生サイトを法制化した新法・地域生物多様性増進法が施行されます。そのため、令和5、6年度に認定された自然共生サイトに加えて、令和7年度からは、地域生物多様性増進法に基づき認定された実施計画の実施区域も「自然共生サイト」となります。(環境省ホームページより)

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和7年度EAAFP事業推進業務の下、ネットワーク参加地に送付しています。地域での活動、また、ガンカモ類重要生息地ネットワークのメーリングリスト(Janet4)への参加希望者は、国内コーディネーターの神谷までご連絡ください。

添付資料

- EAAFP国内ニュースレター Vol.4
- 中海エコ活動レポート Vol.30
- 米子水鳥公園だより No.317
- 福島潟だより 2025春号 4月・5月・6月



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
*News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan*

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
*The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)*

No.223
2025年
10月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●EAAFP 事業推進検討業務について

環境省の EAAFP 事業推進検討業務について、今年度も NPO 法人ラムサール・ネットワーク日本(ラムネット J)が受託団体となりました。今年から計画と内容面については柏木実(ラムネット J)が担当します。また、定例の業務に加え、2年ごとに開催される EAAFP パートナー会議(MOP12)が 11月8-14日にフィリピンのセブ市で予定されており、この会議に関する情報収集の業務も行います。

ガンカモ類国内ネットワークでは、これに基づき、神谷要(米子水鳥公園)が引き続き国内コーディネーターとして、メーリングリストの運営やニュースレターの発行を行います。ご要望がある際には、神谷までご連絡ください。

連絡先はニュースレター右上部に記載しています。



東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップのロゴマーク

●フライウェイ全国会議(予定)

今年も EAAFP 事業推進検討業務としてフライウェイ全国大会の開催が予定されています。各サイトにおかれましては、ぜひ参加をご検討ください。

時期 2026年1月末～2月末
会場 検討中
日程 1泊2日(金・土曜日)

●ジンバブエでラムサール締約国会議

ラムサール条約第 15 回締約国会議(COP15)が、2025年7月に、ジンバブエ共和国で開催されました。

期間中には、ラムサール条約湿地として登録された「猪苗代湖」の関係自治体の福島県、会津若松市、郡山市、猪苗代町に、ラムサール条約事務局長から認定証・登録証がそれぞれ授与されました。

日時 2025年7月23日～7月31日
会場 ジンバブエ共和国・ヴィクトリアフォールズ

参加 72カ国
日本から政府代表団のほか、地方公共団体、ラムネット J、W I Jなどがオブザーバーで参加

テーマ “Protecting Wetlands for our Common Future”
(湿地を守ろう わたしたちの未来のために)

ネットワークサイトからの参加は、多くありませんでしたが、日本政府のブースでは、各地の湿地のパンフレットやポスターが掲示されていました。スマートフォンで翻訳しながら見ている人もいたそうです。

次回締約国会議(COP16は、2028年にパナマで開催されます。



日本政府のブースの様子(WIJ 提供)



ブース内の展示の様子(WIJ 提供)

●全国で「世界湖沼の日」制定記念イベント

2024年12月に国連で「8月27日」が「世界湖沼の日」として制定されました。

1984年のこの日に、琵琶湖湖畔の大津市で第1回世界湖沼会議が行われたことにちなんでいます。滋賀県では「世界湖沼の日」制定記念イベントが開催されました。

名 称 「世界湖沼の日」制定記念イベント

日 時 2025年8月27日(水)

場 所 びわこホール(大津市)

内 容 パネルディスカッション

鳥取県・島根県知事とのweb対談

万博会場との配信・中継など

このイベントでは、鳥取県の米子水鳥公園に、宍道湖・中海に係る島根県・鳥取県両知事が集い、琵琶湖畔の滋賀県の会場とWEBで繋いで3知事対談をしたり、各団体の活動報告をしたりしました。

この他にも、全国各地で「世界湖沼の日」をPRするイベントが開催されています。



米子水鳥公園でのイベントの様子

●琵琶湖で4湿地が交流

琵琶湖(長浜市)の湖北野鳥センターで、琵琶湖、三方五湖、宍道湖、中海の子供たちが集まり交流会を実施します。オオワシが飛来する湿地について学びます。

日 時 2025年11月29日(土)~30日(日)

場 所 長浜市湖北町センター 周辺

内 容 4 湿地が交流し、それぞれの地域の自然を紹介するとともに、そのつながりを考えます。



過去に開催された琵琶湖での交流会の様子

●米子水鳥公園 30 周年で記念式典

米子水鳥公園は、今年で開館 30 周年を迎えます。これを記念して、開園記念式典と記念探鳥会を実施します。

名 称 米子水鳥公園開園 30 周年記念式典

日 時 2025 年 10 月 22 日(水) 10:30～

場 所 米子水鳥公園ネイチャーセンター
視聴覚室

内 容 関係団体への感謝状の贈呈
寄附の披露
地元幼稚園の発表など
水鳥公園で育ったボランティアの青年による発表



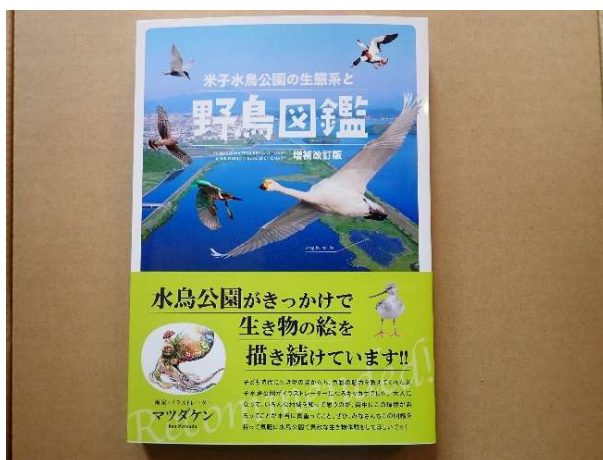
前回の記念式典の様子

●「米子水鳥公園の生態系と野鳥図鑑（増補改訂版）」の発行

米子水鳥公園では開園 30 周年を記念して、10 年前に発行した「米子水鳥公園の生態系と野鳥図鑑」の増補改訂をおこないました。書店での取り扱いの他に、今井出版サイトにて電子書籍として出版しています。新しい情報発信のスタイルとして、他サイトでも参考になれば幸いです。

今井出版オンラインストア

<https://imaibp.bookstores.jp/>



「米子水鳥公園の生態系と野鳥図鑑（増補改訂版）」

●米子水鳥公園のシギ・チドリ 2026 カレンダー発行

2025 年 2 月に「米子水鳥公園のシギ・チドリ総選挙 2025」を実施しました。この結果をもとに「米子水鳥公園のシギ・チドリ 2026 カレンダー」を発行しました。関係者の皆様に進呈いたしますのでご活用下さい。

添付資料

- ・世界湖沼の日 チラシ
- ・米子水鳥公園だより No.319～25
- ・米子水鳥公園のシギ・チドリ 2026
カレンダー
- ・彦名水鳥ウォークチラシ
- ・福島潟たより 2025 夏号 7/8/9月



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.224
2025年
11月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●大潟村干拓博物館で講演会

渡りが途絶えた東アジアのハクガンの群れを
復元させるため「東アジアへのハクガン復元計
画」が1993年に始まりました。この活動を
ロシア・ウランゲル島で45年間ハクガンの行
ってきたV.バラニューク氏を迎え、復元計画の
成果を振り返るとともに、日本とも関係するウ
ランゲル島のハクガンの現状を紹介します。

日 時 2025年11月29日(土)14:30～
16:30

場 所 大潟村干拓博物館

主 催 日本雁を保護する会

共 催 大潟村干拓博物館、大潟村の自然を愛
する会

要申込 先着20名【対面のみ】

参加費 無 料

申込先 大潟村干拓博物館

T E L 0185-22-4113

e-mail museum@vill.ogata.lg.jp

詳しくは下記のサイトをご覧ください。

<https://drive.google.com/file/d/1y87CvzYltvINvE2OijjuetgDFhuaqBmqW/view?usp=sharing>

●全国でラムサール条約登録記念イベント

今年はラムサール条約登録湿地の倍増を目標
に開催された2005年ウガンダでのラムサー
ール締約国会議COP9から20年となります。
日本でも多くのサイトが登録され、今年で登録

20周年となりました。

各サイトで登録20周年のイベントが開催さ
れましたのでご紹介します。

・[蕪栗沼・周辺水田]

ラムサール条約湿地登録 20周年祭

～つなげ、100年先の未来まで～

日時 2025年11月8日(日)

場所 大崎市田尻文化センター

主催 大崎市

内容 呉地正行氏による記念講演や三木ら
の取り組み報告、ユース取組報告、パ
ネルディスカッションのほか、ポスタ
ーコンクールの作品展や水槽展示あり
ました。また、エクスカージョンとし
てガン類のねぐら入りや朝の飛び立ち
の観察会がありました。



大崎市でのイベントの様子

2025/12/22
No.223

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2

• [風蓮湖・春国岱]

ラムサール条約湿地登録 20 周年記念事業

日時 2025 年 11 月 8 日(土)

場所 春国岱ネイチャーセンター

主催 根室市水産経済部農林課

内容 午前の部は、講師の方から春国岱の希少植物であるハマナスやウラギクを守っていく活動の概要や成果について学びました。午後から春国岱の魅力に触れてもらうガイドツアー後、エゾシカからハマナスを守るための防除柵を設置しました。



大ホールでのイベントの様子

• [濤沸湖]

ラムサール条約登録 20 周年記念イベント

「濤沸湖水鳥観察会 & 記念講演」

日時 2025 年 11 月 15 日 (土)

場所 濤沸湖水鳥・湿地センター

主催 濤沸湖水鳥・湿地センター

内容 水鳥観察会では、平和橋にて秋の濤沸湖に集まる渡り鳥たちを観察しました。記念講演では、演題「昔と今、そしてこれからの濤沸湖濤沸湖」として、講師の城石一徹氏（日本野鳥の会オホーツク支部 事務局長）より講演がありました。



展示コーナーの様子

この他にも、各サイトで関連のイベントがありましたら、ぜひご紹介ください。

• [中海・宍道湖]

中海・宍道湖のラムサール条約登録 20 周年イベント「中海・宍道湖ラムサール 20 周年フェスタ～わくわく体感DAY～」

日時 2025 年 11 月 16 日(日)

場所 松江テルサ(島根県松江市)

主催 島根県・鳥取県

内容 島根・鳥取県知事や子どもたちの活動報告、ワークショップのほか、地域産品のふるまいや、関係各団体の展示が行われ、湿地の魅力と保全の大切さを広く伝えられました。

添付資料

- 中海宍道湖ラムサール登録 20 周年記念イベントチラシ
- 米子水鳥公園だより No.324
- 水と鳥のフォトラリー(チラシ)中海・宍道湖大山圏域市長会

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和 7 年度 EAAFP 事業推進業務の下、ネットワーク参加地に送付しています。地域での活動、また、ガンカモ類重要生息地ネットワークのメーリングリスト(Janet4)への参加希望者は、国内コーディネーターの神谷までご連絡ください。



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
*News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan*

東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ
*The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)*

No.225
2025年
12月号

ガンカモ類国内コーディネーター
神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●今年の世界湿地の日のテーマ

2026年のテーマは、“Wetlands and traditional knowledge: Celebrating cultural heritage.” 仮訳：湿地と伝統的知識：文化遺産を讃える」です。

世界湿地の日は、1971年2月2日にイランのラムサールにおいてラムサール条約が締結されたことを記念して、毎年世界中でこの日の前後に様々なイベントが行われています。

<https://www.worldwetlandsday.org/>



●キャンペーンツールをダウンロード

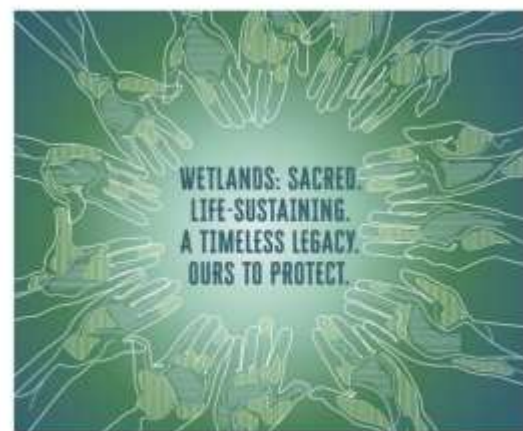
2026年の世界湿地の日の普及のためのツールキットがホームページで配布されています。

- ・キャンペーンポスター
- ・インフォメーショングラフィック
- ・PowerPointプレゼンテーション
- ・子供向けの塗り絵ポスター
- ・Tシャツのデザイン

などがダウンロードできます。

<https://www.worldwetlandsday.org/materials>

●世界湿地の日のイベントを登録しよう!



世界湿地の日 2026 ポスター

各サイトで「世界湿地の日」の前後に企画されているイベントについて、以下のページで情報発信をお願いします。すでに、琵琶湖水鳥・湿地センターでのイベントが掲載されています。

<https://www.worldwetlandsday.org/events>

●バシリー・バラニューク博士来日

ロシアのハクガンの研究者であるバシリー・バラニューク氏が来日され、龍谷大学(京都市)や大潟村干拓博物館(秋田)で講演を行いました。JOGA(ガンカモ類重要生息地ネットワーク)支援・鳥類学研究者グループでも、JOGA25として下記のシンポジウムを共催しました。

2025/12/13
No.225

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2

シンポジウム「日本の空に復活したハクガン ～故郷のウランゲル島の今～」

ハクガンの日本越冬個体群は、1993年に「日本雁を保護する会」等によって実施された復元計画の後、個体数が徐々に増加し、2024年までに、約2000羽に回復しました。本シンポジウムは復元計画に従事した日本とロシアの研究者をむかえ、復元計画の振り返りと、日本とロシアのハクガンの現状について報告します。

日時：2025年11月26日(水)
13:00～16:30

場所：我孫子市鳥の博物館

主催：日本雁を保護する会・雁の里親友の会

共催：山階鳥類研究所、我孫子鳥の博物館
ガンカモ類重要生息地ネットワーク支援・鳥類学研究者グループ (JOGA)

プログラム：

開会あいさつ

シンポジウム「日本の空に復活したハクガン～故郷のウランゲル島の今～」

1. 他界されたニコライ・ゲラシモフさんの思い出／江戸のハクガン（呉地正行）
2. 東アジアにおけるハクガン復元計画（佐場野裕）
3. ウランゲル島の思い出（柴田佳秀）
4. 日本で越冬するガン類の故郷を探る～標識調査と発信器追跡～（澤祐介）
5. ウランゲル島の自然とハクガン（バシリー・バラニューク）訳後藤奈穂美
6. 閉会あいさつ（呉地正行）

当日の様子がYouTubeで配信されています。

<https://www.youtube.com/live/duO7tL4FH3Y>

●「穴道湖 中海 三方五湖 琵琶湖 こどもラムサール交流会 in 琵琶湖」

4つのラムサールサイトの子供たちが集まり、交流会を開催しました。オオワシを頂点とする琵琶湖の生態系の豊かさを実感することが

できました。

日時：2025年11月30日(日)

場所：湖北野鳥センター、
琵琶湖水鳥・湿地センター



●米子水鳥公園事業報告書発行

米子水鳥公園(鳥取県)では、今年も事業報告書を発行いたしました。各サイトにお送りいたします。ご活用いただければ幸いです。また、過去の報告書も米子水鳥公園のホームページで閲覧できます。

<https://yonago-mizutori.com/foundation/>

●国際事務局のニュースレター

EAAFP 国際事務局のホームページでは、国際事務局発行のニュースレターを見ることができます。最新のNo99号(9月号)では東アジア周辺の最新の鳥インフルエンザ発生状況が紹介されています。

<https://eaaflyway.net/eaafp-newsletters/>

添付資料

- ・令和6年米子水鳥公園事業報告書

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和7年度EAAFP事業推進業務の下、ネットワーク参加地に送付しています。地域での活動、また、ガンカモ類重要生息地ネットワークのメーリングリスト(Janet4)への参加希望者は、国内コーディネーターの神谷までご連絡ください。

2025/12/13 No.225	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----



「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
*News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan*

東アジア・オーストラリア地域

フライウェイ・パートナーシップ
*The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)*

No.226

2026年
1月号

ガンカモ類国内コーディネーター

神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

● 令和7年度 EAAFP 渡り性水鳥フライウェイ
全国大会

渡り性水鳥とその生息地の保全のための国内の
関係者の理解と協力、地域間の連携を目的とし
て、令和2年度より EAAFP 国内関係者を対象とし
て「渡り性水鳥フライウェイ全国大会」を開催
しています。今年度は下記のとおり開催します。

日 時：2026年2月8日(日)～9日(月)

場 所：出水市ツル博物館クレインパークいずみ
研修室

内 容：各湿地の紹介、サイトにおける取組状
況、調査研究の成果、保全管理活動の紹
介など

申 込 み：参加・発表の申込は、下記の URL より

<https://forms.gle/EgzyUgtH5bNU1D6D9>

締め切り：現地参加・発表の申込締切は、2026
年1月28日(水)まで。オンライン
のみの参加は、前日までにお申し込みく
ださい。

お問い合わせは、ラムサール・ネットワーク日本
柏木・後藤 (eaafp-j@ramnet-j.org) までお願い
します。

● 世界湿地の日を祝おう!

2月2日は世界湿地の日です。世界中でラムサ
ール条約の締結を祝って様々なイベントが実施さ
れます。ポスターが環境省から各サイトに送付さ
れています。2026年のテーマは、「受け継がれ
る知恵 湿地を守る未来へ」です。ぜひ掲示をお



願いま
す。日本語
版のポスタ
ーの図案が
日本国際湿
地保全連合
のホームペ
ージでダウ
ンロードで
きます。

世界湿地の

日 2026 ポスター

<https://japan.wetlands.org/ja/wwd2026/>

● 国際水鳥センサス 60 周年記念バッジ配布

国際湿地保全連
合の Taej Mundker 氏
から、国際水鳥セン
サス 60 周年に合わ
せた記念バッジをい
ただきました。各
サイトに配布しま
す。



世界の水鳥の個体数を推定する国際的な事業で
すが、近年は推定値が更新されていませんでし
た。今後、2027年の更新に向けて活動を始めま
す。ラムサールサイトの1%基準などにも用いら

2026/01/24
No.226

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2

れる重要な調査です。モニタリングサイト 1000 などで得られた日本のデータも活用される予定です。

●ガン類に首輪標識と発信機装着

2025 年 12 月に山階鳥類研究所と雁の里親友の会が、宮城県でガン類の標識調査を実施しました。

標識されたガン類

- ・カリガネ 15 羽（黄 B09～B23 を装着）
- ・マガン 13 羽（青 G36、G56～G67）
- ・亜種ヒシクイ 7 羽（黄 C01～C07）

観された方はぜひ、ご報告をお願いします。



発信機をつけられたカリガネ

●カメラの付いたコハクチョウを探そう!!

米子水鳥公園(鳥取県)では、2025 年 12 月カメラ付きの首輪がつけられたコハクチョウを確認しました。以前ご紹介した、スワンププロジェクトで伊豆沼の嶋田氏が標識したコハクチョウです。現在、オオハクチョウ、コハクチョウ合計 39 羽に標識されていますが、発信機が壊れて位置が確認できなくなったものや、映像が確認できなくなったものもあります。今回、米子水鳥公園に飛来した「クルミ(309Y)」も発信機による位置確認ができなくなっています。

もし、各サイトで確認されましたら場所、時間、足環の番号、観察者などを記録してスワンププロジェクトのサイトや山階類研究所にお知らせください。



スワンププロジェクトについて詳しくは、

<https://www.intelinkgo.com/swaneyes/jp/>

●足環など標識のついた鳥を見つけたら

各サイトや市民の方から足環や標識のついた野鳥情報が寄せられた場合、山階鳥類研究所のホームページからご報告下さい。

<https://www.yamashina.or.jp/hp/ashiwaform/>

●EAAFP 国内連絡会開催

EAAFP の下での国内活動の実施状況や、渡り性水鳥・生息地の保全状況等について共有するとともに、課題を整理し、今後の取り組みの方針を検討するために、各種群の国内コーディネーターや鳥類の専門家などが集り、国内連絡会を開催しました。

日 時：2026年1月13日（火）

13:00～17:00

場 所：TKP 新橋カンファレンスセンター

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和 7 年度 EAAFP 事業推進業務の下、ネットワーク参加地に送付しています。地域での活動、また、ガンカモ類重要生息地ネットワークのメーリングリスト(Janet4)への参加希望者は、国内コーディネーターの神谷までご連絡ください。

添付資料

- ・国際水鳥センサスのバッジ
- ・米子水鳥公園公園だより・イベントチラシ
- ・新年 午年 缶バッジ
- ※ウマにちなんでコマドリがデザインされています。



「東アジア地域 ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信
News Letter of Anatidae National
Coordinator-Japan

東アジア・オーストラリア地域

フライウェイ・パートナーシップ
The East Asian-Australasian
Flyway Partnership (EAAFP)

No.227
2026年
2月号

ガンカモ類国内コーディネーター

神谷 要(公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)
〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
Tel 0859-24-6139 / Fax 0859-24-6140
E-mail: anet@sanmedia.or.jp

●EAAFP 国内ニュースレターvol.5

フライウェイ全体のニュースレターである「令和7年度版 EAAFP 国内ニュースレター」を同送します。

今号では、令和8年2月8日～2月9日に鹿児島県出水市で開催された渡り性水鳥フライウェイ全国大会報告のほか、昨年フィリピンのセブ島で開催されました第12回パートナー会議(MOP12)の報告を掲載しています。同封の「国内ニュースレター」をご覧ください。

●EAAFP 野鳥観察フィールドノート追加

EAAFP を担当する環境省野生生物課では、普及啓発ツール（EAAFP 野鳥観察ノート）の作製をしました。この残部について、各サイトで活動する子どもまたはユースの観察クラブのメンバーに配布します。

希望されるクラブの方は、クラブ名および人数等を記載のうえ、メールで米子水鳥公園の神谷“anet@sanmedia.or.jp”までお申し出ください。希望するサイトに12部から48部の範囲でお送りいたします。

締め切り 令和8年3月15日まで



野帳図柄

●新潟市の湿地カード制作について

ラムサール条約湿地である「佐潟」や、パートナーシップサイトの「福島潟」をはじめ多くの潟を有する新潟市では、市民に潟に親しんでもらおうと湿地カードを制作しています。

現在、市内の10湿地を対象としたカードが作られ各所で配布されています。同様のカードを他の湿地でも制作してほしいとの声があり、すでに「志津川湾」（宮城県南三陸町）では新潟市のフォーマットに倣ってカードが作られています。ぜひ、他地域でもカードの制作を検討ください。



湿地カード

※湿地カード「志津川湾」について

<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/soshiki/1007/1/1/2/1371.html>

●ハクチョウと旅するスワンププロジェクト
-知る、考える、水鳥のくらし

ハクチョウにカメラ付きの発信機をつけ、その行方を追うスワンププロジェクトに関する講演会が実施されます。

日時 2026年3月7日(土) 13:30～15:40

場所 井の頭自然文化園 ハイブリッド開催

対象 どなたでも参加可能

2026/02/25
No.227

「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」
国内コーディネーター通信

1/2

定員 40名 オンライン 100名(事前申込制)
 申し込み 令和8年3月3日まで
 参加費 無料
 内容 13:30-15:00
 スワンププロジェクト-鳥類の渡り追跡
 公開と市民科学
 嶋田哲郎 伊豆沼・内沼環境保全財団
 15:00~15:40
 井の頭自然文化園が取り組むガン・カ
 モ類の繁殖
 下川優紀 井の頭自然文化園

●よみがえれシジュウカラガンふるさと仙台へ!

日時 2026年3月7日(土)
 会場 日立システムズホール仙台 エッグホール
 参加 無料(参加申し込み必要)
 定員 70名
 内容 仙台・多賀城でかつて多数見られたシジュウカラガンの舞う風景を取り戻し、人も鳥も豊かに生きる未来をめざして、ユース世代を交え、議論・提言する
 主催 日本雁を保護する会
 参加申込みURL
<https://forms.office.com/r/i3nvXtXz7g>
 運営事務局・お問い合わせ
 東北緑化環境保全株式会社
 姉齒・横尾・香川
 TEL: 022-263-0607
 Mail: trk_40karagan-repj@tohoku-aep.co.jp

●世界渡り鳥の日 2026 について

世界渡り鳥の日 (World Migratory Bird Day) は、渡り鳥とその生息地を守るための国際的な啓発キャンペーンで、国連環境計画 (UNEP)のもと、2006年に始まった記念日です。渡り鳥の生態に合わせて春と秋、年に2回(5月と10月の第2土曜日)設定されています。2026年の世界渡り鳥の日は5月9日および10月10日です。2026年のテーマは「Every Bird Count—

Your Observations Matter すべての鳥を数えよう—あなたの観察が重要!仮訳)です。このテーマは、市民科学の重要性をアピールしています。



「世界渡り鳥の日 2026」のイメージ

●出水のツル観光

渡り性水鳥フライウェイ全国大会が開催された鹿児島県出水市では環境にやさしい観光を目指して、利用調整期間を設け、利用調整エリアの入域料を徴収し、電動モビリティの貸し出しなどを行っていました。詳しくは、
<https://www.ramsar-navi.jp/news/detail/35dd59a8-31c3-40c4-a459-5798a83892e3>

☆お願い

このニュースレターは、環境省令和7年度EAAFP事業推進業務の下、ネットワーク参加地に送付しています。地域での活動、また、ガンカモ類重要生息地ネットワークのメーリングリスト (Janet4)への参加希望者は、国内コーディネーターの神谷までご連絡ください。

添付資料

- EAAFP 国内ニュースレターvol.5
- EAAFP 野鳥観察フィールドノート
- 新潟市湿地カード 配布チラシ
- 米子水鳥公園公園だより
- 井の頭文化園 講演会チラシ
ハクチョウと旅するスワンププロジェクト-知る、考える、水鳥のくらし
- 出水のツル観光

2026/02/25 No.227	「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」 国内コーディネーター通信	2/2
----------------------	--	-----